

◆ シンポジウム等

- ◆ 国立民族学博物館・立命館大学学术交流協定締結記念 第2回国際シンポジウム
「食文化の交流—過去・現在・未来 アジアにおける食文化のダイナミズムを交流という視点から解明する」
日時：2016年12月3日（土）～5日（月）
主催：立命館大学、国立民族学博物館、浙江工商大学
- ◆ Workshop: Global Flow of Cultural Knowledge and their Afterlives: Between Japan and the Middle East- National Museum of Ethnology
日時：2016年12月17日（土）～18日（日）
主催：人間文化研究機構基幹研究プロジェクト現代中東地域研究
（国立民族学博物館現代中東地域研究拠点、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所中東イスラーム研究拠点）→詳細26頁
- ◆ 国際公開セミナー「現代社会に突きつける最後のメッセージ ツンドラブック」
日時：2016年12月23日（金）
企画：国立民族学博物館基幹研究プロジェクト北東アジア地域研究
- ◆ 学術潮流サロン「人と動物—つながりとその変化」
日時：2017年1月20日（金）
企画：河合洋尚 →詳細26頁
- ◆ 金沢大学・みんぱく共催シンポジウム「世界遺産と共に生きる 地域と人々の視点から」
日時：2017年1月28日（土）
主催：金沢大学新学術創成研究機構 未来社会創造コア 文化遺産国際協力ネットワークワーキング機構
→詳細26頁
- ◆ 国際シンポジウム「エイジフレンドリー コミュニティ—変わりゆく人生を包みこむまち」
日時：2017年2月25日（土）
企画：鈴木七美
- ◆ 国際シンポジウム「現代アジアにおけるお盆・中元節・七月の祭り—あの世とこの世をめぐる儀礼」
日時：2017年3月4日（土）～5日（日）
主催：国立民族学博物館、香港中文大學歴史系
- ◆ みんぱく一般講演会「人間と食との関係をとらえなおす」
日時：2017年3月5日（日）
主催：国立民族学博物館基幹研究プロジェクト民博ユニット「文明社会における食の布置」
- ◆ みんぱく公開講演会「恵（めぐ）みの水、災（わざわ）いの水—川、湖、海」
日時：2017年3月21日（火）
主催：国立民族学博物館、毎日新聞社

◆ 刊行物

- 『ワールドシネマ・スタディーズ—世界の「いま」を映画から考えよう』
小長谷有紀・鈴木紀・旦匡子編、2016年11月、勉誠出版。
Hunter-Gatherers and their Neighbors in Asia, Africa, and South America (SES No.94).
Kazunobu Ikeya and Robert K. Hitchcock (eds.), Dec. 2016, National Museum of Ethnology.
『学校と博物館でつくる国際理解教育のワークショップ』(SER 138)
上羽陽子・中牧弘允・中山京子・藤原孝章・森茂岳雄編、2016年12月、国立民族学博物館。

◆ 特別展

- ◆ 開館40周年記念特別展「ビーズ—つなぐ・かざる・みせる」
会期：2017年3月9日（木）～6月6日（火）
場所：国立民族学博物館 特別展示館

◆ 企画展

- ◆ 企画展「津波を越えて生きる—大槌町の奮闘の記録」
会期：2017年1月19日（木）～4月11日（火）
場所：国立民族学博物館 企画展示場